

# フィンランド語文法：入門⑫ 注意すべき名詞のタイプ

『フィンランド語との対話—吉田欣吾』

<https://yoshidakingo.com/>



# -iで終わる語

- -iで終わる語には、大きく分けると2つのタイプがある。

## ① i:iタイプ

変化させるときに -iが変化しないタイプ。

## ② i:eタイプ

変化させるときに -iが -e- に変化するタイプ。



# i:iタイプ

- このタイプでは何も考えず、これまで勉強した属格や分格の語尾をつければよい。

**tuoli** 「椅子」 > **tuolin** 「椅子の」、**tuolia** 「椅子を」

**hissi** 「エレベータ」 > **hissin** 「エレベータの」、**hissiä** 「エレベータを」

**kahvi** 「コーヒー」 > **kahvin** 「コーヒーの」、**kahvia** 「コーヒーを」

比較的新しい外来語はすべてこの i:i タイプ。



# i:eタイプ (1)

- i:eタイプでは語尾をつけるときに -i が -e- に変わる。

talvi 「冬」 > talv**e**n 「冬の」

järvi 「湖」 > järv**e**n 「湖の」

nimi 「名前」 > nim**e**n 「名前の」

kieli 「言語」 > ki**e**len 「言語の」



# i:eタイプ (2)

● i:eタイプは分格の作り方によって、さらに2つのグループに分かれる。

## ① i:eタイプ

分格も属格と同じ語幹に -a / -ä をつけて作る。

## ② i:e:Φタイプ (「Φ」は音がなくなることを意味する)

このタイプでは分格を作るときに -i が消えてしまい、分格語尾は -ta / -tä を使う。



# i:eタイプ (3)

- 単純な i:e タイプでは -e の後ろに、属格の -n と同じように分格の -a / -ä をつけばよい。

talvi 「冬」 (> talven 「冬の」) > talvea 「冬を」

järvi 「湖」 (> järven 「湖の」) > järveä 「湖を」

nimi 「名前」 (> nimen 「名前の」) > nimeä 「名前を」



# i:e:Φタイプ

- i:e:Φタイプでは、分格の語尾をつけるときに、  
-iは完全に消えてしまう。そして、このタイプでは分格の語尾は -ta / -tä を使う。

kieli 「言語」 (> kielen 「言語の」) > kieltä 「言語を」

saari 「島」 (> saaren 「島の」) > saarta 「島を」

vuori 「山」 (> vuoren 「山の」) > vuorta 「山を」

どの単語が i:e:Φタイプかは覚えるしかない。



# iで終わる語—練習

## ●属格と分格に変化させる。

### ①新しい外来語：

viini「ワイン」、appelsiini「オレンジ」

### ②古いフィンランド語のうち i:e タイプ

järvi「湖」、helmi「真珠」、pilvi「雲」

### ③古いフィンランド語のうち i:e:φ タイプ

kieli「言語」、pieni「小さい」、suuri「大きい」、meri「海」、lohi「鮭」、tuli「火」





# iで終わる語—練習解答

## ● 属格と分格に変化させる。

① viini, viinin, viiniä

appelsiini, appelsiinin, appelsiinia

② järvi, järven, järveä

helmi, helmen, helmeä

pilvi, pilven, pilveä

③ kieli, kielen, kieltä

pieni, pienen, pientä

suuri, suuren, suurta

meri, meren, merta

lohi, lohen, lohta

tuli, tulen, tulta



# lapsi 「子ども」と lumi 「雪」

- lapsi 「子ども」と lumi 「雪」は i:e:Φ タイプに属すが、さらに分格の形が特別なので覚える。

lapsi 「子ども」 (> lapsen 「子どもの」) > lasta 「子どもを」

lumi 「雪」 (> lumen 「雪の」) > lunta 「雪を」

lapsi 「子ども」では、分格で p が消えてしまう。  
lumi 「雪」では、分格で m が n に変化する。



# e : ee タイプ

- -e で終わる語は、語尾をつけるときは原則として -ee- となる。

kone「機械」 > koneen「機械の」

- ただし、分格ではもとの形に直接-tta / -ttä をつける。

kone > konetta「機械を」



# nen : se タイプ

- -nen で終わる語は、語尾をつけるときは原則として -se- となる。

lautanen 「皿」 > lautasen 「皿の」

- ただし、分格では -nen を -sta / -stä に変える。

lautanen > lautasta 「機械を」



# e, nen で終わる語一練習

●属格と分格に変化させる。

① e で終わる語

huone 「部屋」、aihe 「話題」、perhe 「家族」

② nen で終わる語

nainen 「女」、japanilainen 「日本人」



# e, nen で終わる語—練習解答

●属格と分格に変化させる。

① huone, huoneen, huonetta

aihe, aiheen, aihetta

perhe, perheen, perhettä

② nainen, naisen, naista

japanilainen, japanilaisen, japanilaista

